

ク出身)は出征前オハイオ州アクロン市立病院内科部長をしており、極めて人道的な人で、乾燥人血漿を十一月頃から多くの反対をおし切つて高度の栄養失調患者に使用した。

この薬品は米国民の献血による製剤(箱には愛国者の血液により製造と記してあった)のため、使用反対があつたものと思う。また当時米国民も使用を禁止されていたベニシリンも無制限に使用された。食餌も著しく改善され、十一月頃から死亡率は激減した。

十一月末にさらに南方約二十軒のカンルバンに広大な新病院が建設され、死亡率は殆どゼロになった。翌年十二月にこの病院は閉鎖された。

ブリス中佐をはじめ、歴代院長(三名)は全て親目的、人道的であつた。

一九六六年四月同病院に勤務した衛生要員はブリス博士夫妻を謝恩のため日本に招待し、日本政府は博士の人道的行為に感謝し、勲三等旭日中綬章を贈つた。

(京都府医師会)

陸軍戸山学校について

清水勝嘉

陸海軍には軍人を養成するために各種の学校が設置されていた。

このうち陸軍戸山学校は将校下士官に体育指導技能を習得させることを目的に明治六年に創設されている。

陸軍省沿革史の明治六年八月二十日の項をみると、「兵学寮ニ戸山出張所ヲ設ケ、陸軍大佐長坂昭徳ヲ以テ事務掛トナス、是レヨリ先キ八月七日戸山学生概則ヲ定メ、歩兵各隊ニ附属スル上下士官中若干員ヲ募集シテ学生トシ、諸科ノ教官ヲ以テ之ヲ教授セシム、是レ全国各軍隊ノ操法勤務ヲシテ一定ニ帰シ、各上下士官ノ學術ヲシテ進歩セシムンカ為メナリ」とあり、翌七年二月四日にこの戸山出張所を戸山学校と改称し、兵学寮の第三学舎を廃止し、これに移管した。

明治軍事史は陸軍戸山学校所蔵の陸軍戸山学校歴史を資

料にしているが、今回は明治三十年に監軍部（のちの教育総監部）に提出した「戸山学校歴史」によって、戸山学校の草創期をいくつかに分けてとりあげてみる。

〔創立の趣旨〕

我国兵制改革草創ノ際ニ方ツテ教法ヲ一定シ技術ヲ練磨スル尤モ當時ノ一大要務タリ加之後來外国軍隊日進ノ情况

ヲ視察シ新教法ヲ發明シ新技術ヲ研究実験シテ外国軍隊ノ進歩ト相並馳セシムルノ必要ナルヲ期ス故ニ全国ノ諸隊ヲシテ速カニ同一ノ成規ニ基キ諸科ヲ訓練シ其修得スル所ノ學術ヲ本隊ニ伝習普及シ要スル所全国歩兵隊ヲシテ益々進歩セシメ且一定ノ教法ヲ完全ナカラシムルヲ期スルニ在リ此レ本校ノ創立アル所以ナリ

〔御雇外国人〕

国名	雇入年月日	解雇年月日	学術科	俸給	官	姓名
仏	明治五年四月十一日	明治八年一月十八日	操練・射撃・体操・學術	(不明)	歩兵大尉	エシユマン
仏	明治五年四月十一日	明治九年二月二十九日	同上	二百円	歩兵少尉	グロース
仏	明治七年五月二十六日	明治十年四月十日	体操	百六十五円	歩兵軍曹	デニクロ
仏	明治八年十月二十九日	明治十二年十二月三十一日	射撃學	二百七十円	歩兵中尉	ブーゴアン
仏	明治十七年九月二十七日	明治二十年七月二十四日	体操及劍術	百六十五円	砲兵下副官	キエル
仏	明治十七年十月二十九日	明治二十年十月二十八日	軍術射撃學及術科	三百五十円	歩兵大尉	ドウキラレー
仏	明治二十年九月二十五日	明治二十二年一月廿六日帰国	戰術・射撃・体操學	四百二十円	歩兵大尉	ルフエーブル

国名	雇入年月日	解雇年月日	学術科	俸給	官	姓名
独	明治二十三年 四月一日依托		軍薬科	百 円		エッケルト
仏	明治十七年 九月二十七日	明治二十二年 一月廿六日帰国	軍薬科	二百七十円	軍薬長	ルルー

この御雇外国人一覧は原本のままをあげておいた。そのため他の資料と異なる箇所のあることは承知している。

〔入学学生の時期と総数〕

第一期学生 明六・九・一〇七・六・二十九

二百二十五名

第二期学生 明八・九・一〇九・六・三十 百八十一名

第三期学生 明九・九・一〇十・三・七 二百十一名

第四期学生 明十一・十二・七〇十一・六・三十

八十八名

このうち第三期学生は西南の役のため修業途中で逐次退校していった。

〔カリキュラム〕

第一期学生

練兵附体操射的、数学、内務、地方勤務、野外勤務等

第二期学生以降のカリキュラムは術科と学科に分けて、細かく実施されていた。

今回は陸軍戸山学校の草創期の概略について報告するにとどめる。

(防衛医科大学校・公衆衛生学)